



# 館長だより

山形県産業科学館

令和 6 年 8 月 1 0 日(土)

発行 館長 加藤 智 一

## ナマコ

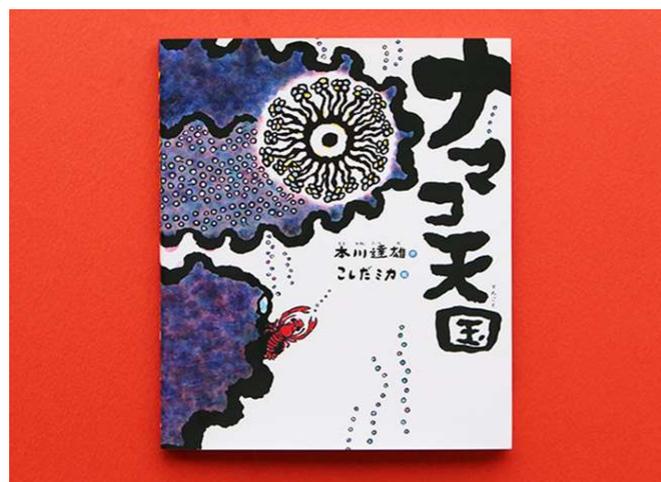
巷では、子ども達の夏休みも始まり、そのせいか山形新聞の 8 月 7 日「談話室」では、いつになく生き物の話題が。テーマはナマコ。ナマコは目や鼻だけでなく脳の持たないのだそうです。なのに暑さは苦手で、「夏眠」するのだそう。つまり、眠ることで、過酷な環境をやり過ごすのだそうです。これは「知恵」？脳が無いのに？そんなナマコに感心したのか、正岡子規は「世の中をかしくくらす海鼠哉」という句を詠んでいます。

ということで、今回のテーマはナマコ。偕成社のウェブマガジン「Kaisei web」から「ナマコ天国」というなかなか面白い絵本を発見したので、ご紹介します。以下その抜粋。いわゆるパクリです。この絵本を描いたのは、本川達雄さん。動物生理学専攻の理学博士。ナマコ研究の第一人者で、東京工業大学の名誉教授です。この絵本には、ご自身が作詞作曲した歌、「ナマコ天国」と「超人!? ナ・マーコ」の楽譜もついています。

ナマコは 2 つに切ると 2 匹になる、心臓も脳もない生き物！みなさんは、ナマコがどうやって生きているか、ご存じですか？料理でもおなじみのナマコには、実は驚きの特徴がたくさんあります。これは、ナマコ研究の第一人者である本川達雄さんが奥深いナマコの世界をわかりやすく解説した、世にもめずらしい絵本です。そこのところをナマコの「ナ・マーコ」が詳しく解説します

沖縄の海で、ナマコを発見した男の子と女の子。ギョッと握ったら、ナマコはなぜかカチンコチンになりました。ところが、次にゴシゴシこすってみると今度はグニャグニャに柔らかくなって、溶けてしまったではありませんか！しかし、溶けてしまったナマコは、数週間経つと元どおりになります。おまけに 2 つに切られても、2 匹になって生きていけるのです！「なんだかヘン！とってもヘン!! いったい、ナマコって何者？」そこへとつぜん登場するのが、超人!?ナ・マーコ！摩訶不思議なナマコの生態をおしえてくれます。目も耳も鼻もなく、心臓も脳もない。内臓はほとんど腸だけ。息をするのは、おしり。筋肉が体重の約 50%を占める哺乳類に対し、ナマコの筋肉はわずか 7%。60%は皮！一番重たいナマコはアデヤカバイカナマコの 5kg、一番長いナマコは、奄美大島で発見されたクレナイオオイカリナマコの 4m50cm。敵におそわれたら、皮をカチンコチンにし

て防衛。それでもダメなら皮をとかして穴をあけ、腸をはきだして、敵が喜んで食べているすきに逃げる（体はからっぽ!）。食べものは、身のまわりにある砂。知らなくても困らないけれど、知れば知るほどおもしろい、それがナマコ。ぜひこの本を読んで、あなたもナマコ博士になってみませんか。



## ギリシャ数字の教え方

化学の教科書、特に有機化学でよく見られるギリシャ数字。これがあつたから有機化学が嫌いになったという方もいたのでは。しかし、今でも私達の生活に直結した身近な存在であることを理解して欲しい。ちなみに、ギリシャ数字を 1 から数えると、

- 1・・・モノ (mono- 例：モノレール、モノクロ)
- 2・・・ジ (di- 例：ジレンマ)
- 3・・・トリ (tri- 例：トリプル、トリオ)
- 4・・・テトラ (tetra- 例：テトラポット)
- 5・・・ペンタ (penta- 例：ペンタゴン)
- 6・・・ヘキサ (hexa- 例：ヘキサゴン [六角形])
- 7・・・ヘプタ
- 8・・・オクタ (octa- 例：オクトパス)
- 9・・・ノナ
- 10・・・デカ